



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,148	11.3	260	△8.4	429	62.4	263	154.8
27年3月期第1四半期	6,425	△12.1	284	△51.2	264	△62.8	103	△79.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △330百万円 (ー%) 27年3月期第1四半期 △119百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.78	—
27年3月期第1四半期	3.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	41,606	28,814	69.3	1,068.05
27年3月期	42,511	29,427	69.2	1,090.80

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 28,814百万円 27年3月期 29,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.50	—	10.50	19.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	16.3	800	10.6	900	△14.9	600	△21.1	22.24
通期	31,200	11.8	1,900	47.9	2,000	△7.7	1,400	△5.8	51.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	29,662,851株	27年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,684,669株	27年3月期	2,684,669株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	26,978,182株	27年3月期1Q	26,978,594株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州ではギリシャの債務問題の影響により力強さに欠ける展開となりましたが、米国では個人消費を中心に総じて順調に推移いたしました。また、国内経済は、好調な企業業績や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持いたしました。

当社グループを取り巻く環境について、ゲーミング市場は、欧州並びに北米地域では新規カジノのオープン数が減少するなど厳しい環境にありました。コマース（金融・流通・交通等）市場は、日本国内では需要が伸び悩みましたが、北米及び欧州地域では総じて良好な市場環境にありました。一方、国内を対象とする遊技場向機器市場では、パチンコ業界の設備投資に対する抑制傾向が続きました。

このような状況の下、当社グループは、昨年買収したプリンター事業とのシナジー効果の発現に努めるとともに、本年4月1日に新設したグローバルコマース本部を含めて積極的な販売活動を行い、売上規模の拡大と収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前述のプリンター事業の売上高の計上もあり、71億48百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。利益面では、北米ゲーミング市場における紙幣識別機ユニットの販売数量の減少や販売価格の低下などにより、営業利益は2億60百万円（前年同四半期比8.4%減）となりましたが、営業外損益に外貨建資産の為替時価換算差益を計上したことから、経常利益は4億29百万円（前年同四半期比62.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億63百万円（前年同四半期比154.8%増）となりました。

また、当第1四半期の為替レートは、米ドル119.27円（前年同四半期は102.57円）、ユーロは132.65円（前年同四半期は140.25円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、前述の「グローバルコマース本部」の新設に伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を見直し、報告セグメントを、従来の「日本地域」「北米地域」「欧州地域」「アジア地域」の4区分から、「グローバルゲーミング」「海外コマース」「国内コマース」「遊技場向機器」の4区分に変更しております。また、セグメント利益を、従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①グローバルゲーミング

プリンター事業の売上が加わったことにより、当セグメントの売上高は37億75百万円（前年同四半期比19.0%増）となりました。一方、北米地域における紙幣識別機ユニットの需要低下に伴う販売価格の軟化や、欧州地域におけるユーロ安に伴う仕入価格上昇の影響などにより、セグメント利益は6億3百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

②海外コマース

北米金融市場向けの紙幣識別機ユニットの販売が増加したことなどにより、当セグメントの売上高は10億61百万円（前年同四半期比76.2%増）、セグメント利益は2億42百万円（前年同四半期比46.7%増）となりました。

③国内コマース

OEM顧客向けの貨幣処理機器ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は4億72百万円（前年同四半期比16.9%減）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比92.2%減）となりました。

④遊技場向機器

厳しい市場環境を反映して、メダル貸機などの関連設備機器の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は18億39百万円（前年同四半期比11.6%減）、セグメント損失は20百万円（前年同四半期は51百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、416億6百万円となりました。「商品及び製品」、「仕掛品」及び「原材料及び貯蔵品」が増加いたしました。また、「現金及び預金」及び「受取手形及び売掛金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ9億4百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は127億92百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ2億91百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は288億14百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったものの、為替換算調整勘定の減少があったことから、前連結会計年度末に比べ6億13百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益4億28百万円、売上債権の減少3億35百万円などの資金の増加がありましたが、たな卸資産の増加13億28百万円などの資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは5億28百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、投資有価証券の取得による支出98百万円、有形固定資産の取得による支出70百万円などの資金の支出がありましたので、2億10百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額2億84百万円、リース債務の返済による支出32百万円などの資金の支出がありましたので、3億2百万円の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額1億38百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は76億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ、11億80百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成27年5月12日付決算短信の発表数値からの変更はありませんが、今後の需要動向などの影響を確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成27年3月26日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社JCM AMERICAN CORP.(連結)が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産—のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,834,280	7,654,270
受取手形及び売掛金	7,151,245	6,673,530
有価証券	6,653	35,864
商品及び製品	6,248,950	6,536,134
仕掛品	596,664	884,087
原材料及び貯蔵品	3,377,060	3,908,395
その他	1,085,035	959,504
貸倒引当金	△306,856	△315,162
流動資産合計	26,993,034	26,336,625
固定資産		
有形固定資産	5,365,248	5,286,330
無形固定資産		
のれん	8,019,099	7,838,776
その他	87,084	84,927
無形固定資産	8,106,183	7,923,704
投資その他の資産		
その他	2,099,067	2,111,895
貸倒引当金	△51,563	△51,563
投資その他の資産合計	2,047,503	2,060,331
固定資産合計	15,518,936	15,270,366
資産合計	42,511,971	41,606,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,728,644	3,571,185
短期借入金	5,773,440	5,879,520
未払法人税等	108,716	39,831
賞与引当金	288,359	136,955
役員賞与引当金	28,300	23,000
その他	2,537,866	2,512,877
流動負債合計	12,465,326	12,163,369
固定負債		
厚生年金基金解散損失引当金	67,000	67,000
その他	551,891	562,499
固定負債合計	618,891	629,499
負債合計	13,084,218	12,792,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,068,964
利益剰余金	26,669,381	26,650,038
自己株式	△2,329,339	△2,329,339
株主資本合計	28,625,951	28,606,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,562	132,038
為替換算調整勘定	686,239	75,476
その他の包括利益累計額合計	801,801	207,514
純資産合計	29,427,753	28,814,122
負債純資産合計	42,511,971	41,606,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,425,238	7,148,958
売上原価	4,097,066	4,265,052
売上総利益	2,328,171	2,883,905
割賦販売未実現利益戻入額	13,490	21,792
割賦販売未実現利益繰入額	44,736	49,804
差引売上総利益	2,296,925	2,855,893
販売費及び一般管理費	2,012,101	2,594,906
営業利益	284,824	260,987
営業外収益		
受取利息	6,031	1,387
受取配当金	9,957	10,855
為替差益	—	162,904
持分法による投資利益	4,653	—
その他	19,946	13,282
営業外収益合計	40,589	188,429
営業外費用		
支払利息	3,486	8,819
為替差損	57,231	—
持分法による投資損失	—	8,706
その他	1	1,911
営業外費用合計	60,719	19,437
経常利益	264,694	429,978
特別利益		
固定資産売却益	—	199
特別利益合計	—	199
特別損失		
固定資産除却損	547	1,774
固定資産売却損	—	13
特別損失合計	547	1,787
税金等調整前四半期純利益	264,146	428,391
法人税、住民税及び事業税	134,934	151,655
法人税等調整額	25,632	12,808
法人税等合計	160,566	164,463
四半期純利益	103,580	263,927
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,580	263,927

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	103,580	263,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,423	16,475
為替換算調整勘定	△250,556	△603,557
持分法適用会社に対する持分相当額	281	△7,205
その他の包括利益合計	△222,851	△594,286
四半期包括利益	△119,270	△330,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,270	△330,359
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264,146	428,391
減価償却費	136,542	150,867
のれん償却額	—	156,394
引当金の増減額 (△は減少)	△177,083	△153,513
受取利息及び受取配当金	△15,988	△12,242
支払利息	3,486	8,819
為替差損益 (△は益)	37,745	△199,453
有形固定資産除売却損益 (△は益)	547	1,587
持分法による投資損益 (△は益)	△4,653	8,706
売上債権の増減額 (△は増加)	595,508	335,527
たな卸資産の増減額 (△は増加)	377,855	△1,328,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	△644,237	50,014
未収消費税等の増減額 (△は増加)	89,884	28,492
その他	51,124	174,436
小計	714,877	△350,824
利息及び配当金の受取額	15,673	12,071
利息の支払額	△3,486	△8,819
法人税等の支払額	△91,760	△181,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	635,305	△528,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	22,606	△28,979
有形固定資産の取得による支出	△98,061	△70,035
有形固定資産の売却による収入	—	210
無形固定資産の取得による支出	△34,982	△8,000
投資有価証券の取得による支出	△302	△98,510
その他	—	△4,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,740	△210,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△216,202	△284,096
リース債務の増加による収入	—	13,798
リース債務の返済による支出	△57,629	△32,257
自己株式の取得による支出	△31	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,864	△302,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79,285	△138,453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	171,415	△1,180,010
現金及び現金同等物の期首残高	8,488,719	8,814,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,660,134	7,634,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,172,658	602,684	568,315	2,081,579	6,425,238	—	6,425,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,172,658	602,684	568,315	2,081,579	6,425,238	—	6,425,238
セグメント利益又は 損失(△)	680,058	165,488	34,005	△51,498	828,054	△543,230	284,824

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シヤル	国内コマー シヤル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,775,292	1,061,870	472,094	1,839,701	7,148,958	—	7,148,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,775,292	1,061,870	472,094	1,839,701	7,148,958	—	7,148,958
セグメント利益又は 損失(△)	603,130	242,825	2,652	△20,045	828,562	△567,575	260,987

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

本年4月1日付にて「グローバルコマーシヤル本部」を新設したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より、セグメント区分を見直し、報告セグメントを、従来の「日本地域」「北米地域」「欧州地域」「アジア地域」の4区分から、「グローバルゲーミング」「海外コマーシヤル」「国内コマーシヤル」「遊技場向機器」の4区分に変更しております。また、セグメント利益を、従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。